【Ｒ１８】会話形式ノベル（台本仕様）

『男子の露天風呂が丸見えに、大喜びする女教師と女子たち』

～登場人物の会話と心の声～

作：七条右京

【主な登場人物】

・青葉七夏（あおばななか）：女教師

・神楽美桜（かぐらみお）：女子生徒１

・一色萌奈（いっしきもな）：女子生徒２

・高橋朝斗（たかはしあさと）：男子生徒１

・佐藤太一（さとうたいち）：男子生徒２

・藤村宇宙（ふじむらうちゅう）：男子生徒３

来年卒業の為、今回で最後のクラス旅行となる。

その宿泊先での男女の物語。

女子の露天風呂が男子の露天風呂よりちょっと上の方にある構造になっていて、男子の露天風呂が丸見えとなるポイントがあった。

女教師の青葉七夏、女子生徒の神楽美桜と一色萌奈は、おちんちんを見て大喜び。

お風呂上り、浴衣姿を男子に見せようと部屋に訪れた女子たち。

その可愛い浴衣姿にみとれてしまう男子たち。

そこに女教師の七夏も浴衣姿で訪ねて来る。

その浴衣姿は、艶やかで色っぽくて、なんとも

言えない美しさであった。

女教師の七夏、女子生徒の美桜と萌奈、男子生徒の朝斗、太一、宇宙の、最高の思いで作りが始まる。

○女子露天風呂

美しい景色を一望し、キレイな空気の中で、露天風呂を満喫している七夏。

青葉七夏：

「あ～、やっぱり旅行と言ったら温泉よね」

「いい景色、いい空気、露天風呂最高だわ」

「こんな広い露天風呂に、私ひとりだけ」

「貸し切り状態、最高！」

「あ〜、癒される」

「疲れが一気に吹き飛ぶわ」

「端の方まで行ってみようかしら？」

立って端の方まで歩いて行く。

「ここからの景色も、最高ね」

「あれ、男の声がする」

下の方を見てみる。

「あっ、ちょっと待って、ここから男子の露天風呂、丸見えじゃないの」

「やだ、おちんちんも丸見えよ」

「男子の方からは見えないの？」

「うちの生徒？」

「高橋君に佐藤君に藤村君」

「いいわ～、若い男のコのおちんちん」

「元気そうなおちんちん」

「まだ若いからキレイな色してるのね」

「高校生なのに、もうちゃんと大人のおちんちんなのね」

「いい眺め、目の保養になる～～」

「あら、やだ、私ったら」

「あっ、女子の声」

「もうせっかく楽しんでたのに」

そこへ美桜と萌奈が入って来る。

美桜と萌奈の方を振り向く七夏。

色白の柔肌、丁度いい大きさとキレイな形の乳房は黙っていても目に入る。

神楽美桜：

「あっ、先生」

「先生のおっぱい、凄くキレイです」

「なんか、憧れちゃいます」

「私のおっぱいも、先生の様だったらいいのに」

七夏：

「なに言ってるのよ」